

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「次世代情報社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

AI・ビッグデータ・IoT を駆使した Human-centric デジタルツインによる新たな未来社会デザイン

3. 研究開発課題名

ケア現場の当事者と専門家の共創を可能にするメタバースプラットフォームの実現

4. 研究開発代表者名（機関名および役職は評価時点）

中谷 桃子（東京科学大学工学院情報通信系 准教授）

5. 評価結果

評点： A 優れている

総評：

本研究開発課題は、ケア現場の状況・環境を再現したデジタルツインをメタバース上に構築し、現場の課題発見・解決策創出を行う方法論を確立することで、現場の当事者や多様な専門家による共創を実現し、ケア現場のイノベーションの実現を目指すものである。

探索研究では、多数のケア現場との連携により、現場のビッグデータの収集・蓄積を行うとともに、これらをデジタルツイン環境に可視化するシステムを構築し、ケア現場の質向上に役立つ複数の学習コンテンツを開発した。また、開発したプラットフォームを用いて保育現場の課題を分析し、改善点を共創する方法論を提案するとともに、現場での実直な評価を行ったことは評価できる。

今後は、コア技術の優位性や効果を整理・評価し、標準化の推進、および、多くの現場やユーザが利用できるようになるための方策の検討など、より広範な普及と社会実装に向けて研究開発が発展することを期待する。

以上